

(様式第1号) (第7関係)

# 記入例

## 申請受付期間

申請年度に事業完了するもの 4/15~2/15

申請年度の翌年度に事業完了するもの 12/1~3/15

## 信州型住宅リフォーム助成金交付申請書 (第一面)

平成29年4月26日

〇〇 建設事務所長 様

郵便番号 XXX-XXXX  
住所 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X  
電話番号 XXXX-XX-XXXX  
フリガナ 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
氏名 〇〇 〇〇

申請時の住所、電話番号



信州型住宅リフォーム助成金の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。  
なお、当申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

### 記

#### 1 申請の区分

一般型

移住促進型

〔申請者が交付申請日の属する年度の前年度の4月1日から実績報告日までに県外から県内に移住した(する)場合〕

#### 2 リフォーム工事計画概要

対象住宅の所在地	〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X			参考資料1を参照
地域の区分*	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	
居住・所有	<input checked="" type="checkbox"/> 自ら居住する住宅		<input type="checkbox"/> 自ら所有する住宅	
施工者	商号・名称	〇〇建設株式会社		
	所在地	〇〇市〇〇〇X-XX-X		
	電話番号	XXXX-XX-XXXX		
工事期間	工事着手予定日	平成29年5月10日		
	工事完了予定日	平成29年7月5日		

交付決定後に工事着手できます。  
申請書の審査期間を見込んで  
早めに申請してください。

※ 地域の区分:「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等に係る事項(平成28年国土交通省告示第265号)別表第10

3/31までに工事完了の上、3/31までに実績報告書を提出してください。

#### 〔注意事項〕

- この申請書は、リフォーム工事の着手(契約)前に提出してください。
- のある欄は、該当するものにチェック(又は塗りつぶし)をしてください。
- 書類審査の結果により助成金の交付の決定を行い、交付決定通知書を交付します。
- 助成対象のリフォーム工事は、交付の決定の後に着手できます。

#### 【添付書類チェックリスト】

- 付近見取図
- 工事内容が確認できる図面、仕様書、計算書等
- 工事費見積書の写し
- 工事箇所ごとの工事着手前の写真
- 【加算額④を適用する場合】リフォーム瑕疵保険の加入に係る見積書の写し
- 【加算額⑥を適用する場合で、交付申請日に県内に居住している場合】住民票の写しの原本(発行後1か月以内。移住促進型に該当することが確認できるもの)
- 【申請者が自ら所有する住宅でない場合】リフォーム工実施に係る同意書(様式第2号)

## 3 リフォーム工事計画概要 (基本額)

基本額対象室		<input type="checkbox"/> 浴室及び脱衣所	<input checked="" type="checkbox"/> 寝室
対象工事、部位		リフォーム実施数量	金額
外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱性能を向上させる工事〔合計10㎡以上〕	壁	6.1 ㎡	38,600 円 ㉔ 〔㉔×2,000〕
	床	13.2 ㎡	
	天井・屋根	㎡	
	計	19.3 ㎡ ㉔	
外気等に接する建具の断熱性能を向上させる工事 〔基本額対象室のすべての建具の断熱性能を確保するもの〕		2 箇所 ㉕	30,000 円 ㉕ 〔㉕×15,000〕

## 4 リフォーム工事計画概要 (加算額)

断熱性能の基準は参考資料2を参照 (H28 外皮基準)

適用項目	対象工事、部位等		リフォーム実施数量	金額	
①	ア	基本額対象室以外において、外気に接する壁、床、天井又は屋根の断熱性能を向上させる工事	壁	㎡	116,600 円 ㉖ 〔㉖×2,000〕
			床	㎡	
			天井・屋根	58.3 ㎡	
			計	58.3 ㎡ ㉖	
イ	基本額対象室以外において、外気等に接する建具の断熱性能を向上させる工事	3 箇所 ㉗	45,000 円 ㉗ 〔㉗×15,000〕		
②	ア	床の段差を解消する工事	1 箇所 ㉘	円 ㉘ 〔㉘×2,000〕	
	イ	出入口の幅を拡張する工事	1 箇所 ㉙	円 ㉙ 〔㉙×10,000〕	
	ウ	和式便器を洋式便器に取り替える工事	1 箇所 ㉚	50,000 円 ㉚ 〔㉚×50,000〕	
	エ	便所又は浴室を拡大し十分な面積を確保する工事	1 箇所 ㉛	円 ㉛ 〔㉛×50,000〕	
③	ア	県産木材 (仕上げ用板材又は合板) を使用する工事	12.3 ㎡ ㉜	24,600 円 ㉜ 〔㉜×2,000〕	
	イ	県産木材 (仕上げ用板材又は合板以外の材) を使用する工事	1.2 ㎡ ㉝	6,000 円 ㉝ 〔㉝×5,000〕	
④	リフォーム瑕疵保険に加入	18歳に達する日以後の最初の3月31日までは対象		10,000 円 ㉞ 〔10,000 円〕	
⑤	子育て世帯 (18歳未満が同居する住宅)	同居する子どもの氏名・生年月日	〇〇 △△ 平成20年11月4日	50,000 円 ㉟ 〔50,000 円〕	
⑥	移住世帯 (申請の区分が移住促進型)	県内への転入 (予定) 日	年 月 日	円 ㊱ 〔100,000 円〕	

## 5 交付申請額

㉔～㉞の合計額	370,800 円 ㉞	㉞の1,000円未満を切り捨てた額	370,000 円 ㊲
リフォーム工事費	2,268,000 円 ㉟	〔リフォーム工事費500,000円以上が助成対象〕	
㉟の1/5の額	453,600 円 ㉟	㉟の1,000円未満を切り捨てた額	453,000 円 ㊳
申請の区分による上限額	〔一般型は400,000円、移住促進型は500,000円〕		400,000 円 ㊴
交付申請額			〔㊲、㊳、㊴の最小額〕 370,000 円

(様式第2号) (第7関係)

**記入例**

リフォーム工事実施に係る同意書

平成29年4月26日

〇〇 建設事務所長 様

郵便番号 XXX-XXXX  
住 所 〇〇市〇〇〇〇XX-X  
電話番号 XXX-XXX-XXXX  
フリガナ □□□ □□□□  
氏 名 〇〇 ◇◇



住宅所有者の記名押印

私が所有する住宅（所在地： 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X ）について、〇〇 〇〇が申請する信州型住宅リフォーム助成金交付申請書に記載のとおりリフォーム工事を実施することに同意します。

住宅所在地、申請者名が交付申請書（様式第1号）と整合していること

(様式第3号) (第9関係)

工事内容等に変更が生じて助成金の額が変更となるときは、変更承認申請が必要です。その他の軽微な変更は、変更承認申請は必要ありません。

## 記入例

### 信州型住宅リフォーム助成金変更承認申請書 (第一面)

平成29年 5月 25日

〇〇 建設事務所長 様

郵便番号 XXX-XXXX  
住所 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X  
電話番号 XXXX-XX-XXXX  
フリガナ 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
氏名 〇〇 〇〇



平成29年 5月 8日付け長野県〇〇建設事務所指令29〇建 第XX-X号で交付決定のあった事業について、下記のとおり変更したいので申請します。

なお、当申請書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

#### 記

#### 1 申請の区分

一般型

移住促進型

〔申請者が交付申請日の属する年度の前年度の4月1日から実績報告日までに県外から県内に移住した(する)場合〕

#### 2 リフォーム工事計画概要

対象住宅の所在地	〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X		
地域の区分*	<input type="checkbox"/> 3	<input checked="" type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
居住・所有	<input checked="" type="checkbox"/> 自ら居住する住宅 <input type="checkbox"/> 自ら所有する住宅		
施工者	商号・名称	〇〇建設株式会社	
	所在地	〇〇市〇〇〇X-XX-X	工事着手日は交付決定後
	電話番号	XXXX-XX-XXXX	
工事期間	工事着手日	平成29年 5月 9日	
	工事完了予定日	平成29年 7月 5日	

※ 地域の区分:「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令における算出方法等に係る事項」(平成28年国土交通省告示第265号)別表第10

#### 〔注意事項〕

- この申請書は、工事内容に変更が生じ助成金の額が変更となるときに提出してください。
- のある欄は、該当するものにチェック(又は塗りつぶし)をしてください。
- 変更がある箇所は、上段に( )書きで変更前の内容を、下段に変更後の内容を記入(二段書き)してください。変更がない箇所は、交付申請時の内容を記入してください。

#### 〔添付書類チェックリスト〕(変更に係る書類のみで可)

- 付近見取図
- 工事内容が確認できる図面、仕様書、計算書等
- 工事費見積書の写し
- 工事箇所ごとの工事着手前の写真
- 【加算額④を適用する場合】リフォーム瑕疵保険の加入に係る見積書の写し
- 【加算額⑥を適用する場合で、交付申請日に県内に居住している場合】住民票の写しの原本(発行後1か月以内。移住促進型に該当することが確認できるもの)
- 【申請者が自ら所有する住宅でない場合】リフォーム工事実施に係る同意書(様式第2号)

変更箇所は、変更前の内容を上段に ( ) 書き、(第二面)  
 変更後の内容を下段に書き、二段で記入

変更承認申請書

### 3 リフォーム工事計画概要 (基本額)

基本額対象室		<input type="checkbox"/> 浴室及び脱衣所	<input checked="" type="checkbox"/> 寝室
対象工事、部位		リフォーム実施数量	金額
外気等に接する壁、床、天井又は屋根の断熱性能を向上させる工事〔合計10㎡以上〕	壁	6.1 ㎡	38,600 円 ㉔ 〔㉔×2,000〕
	床	13.2 ㎡	
	天井・屋根	㎡	
	計	19.3 ㎡ ㉔	
外気等に接する建具の断熱性能を向上させる工事 〔基本額対象室のすべての建具の断熱性能を確保するもの〕		2 箇所 ㉕	30,000 円 ㉕ 〔㉕×15,000〕

### 4 リフォーム工事計画概要 (加算額)

適用項目	対象工事、部位等		リフォーム実施数量	金額	
①	ア	<input checked="" type="checkbox"/> 基本額対象室以外において、外気に接する壁、床、天井又は屋根の断熱性能を向上させる工事	壁	㎡	(116,600) 192,400 円 ㉖ 〔㉖×2,000〕
			床	(0) 37.9 ㎡	
			天井・屋根	58.3 ㎡	
			計	(58.3) 96.2 ㎡ ㉖	
イ	<input checked="" type="checkbox"/> 基本額対象室以外において、外気等に接する建具の断熱性能を向上させる工事	3 箇所 ㉗	45,000 円 ㉗ 〔㉗×15,000〕		
②	ア	<input type="checkbox"/> 床の段差を解消する工事	箇所 ㉘	円 ㉘ 〔㉘×2,000〕	
	イ	<input type="checkbox"/> 出入口の幅を拡張する工事	箇所 ㉙	円 ㉙ 〔㉙×10,000〕	
	ウ	<input checked="" type="checkbox"/> 和式便器を洋式便器に取り替える工事	1 箇所 ㉚	50,000 円 ㉚ 〔㉚×50,000〕	
	エ	<input type="checkbox"/> 便所又は浴室を拡大し十分な面積を確保する工事	箇所 ㉛	円 ㉛ 〔㉛×50,000〕	
③	ア	<input checked="" type="checkbox"/> 県産木材(仕上げ用板材又は合板)を使用する工事	12.3 ㎡ ㉜	24,600 円 ㉜ 〔㉜×2,000〕	
	イ	<input checked="" type="checkbox"/> 県産木材(仕上げ用板材又は合板以外の材)を使用する工事	1.2 ㎡ ㉝	6,000 円 ㉝ 〔㉝×5,000〕	
④	<input checked="" type="checkbox"/> リフォーム瑕疵保険に加入			10,000 円 ㉞ 〔10,000 円〕	
⑤	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯(18歳未満が同居する住宅)	同居する子どもの氏名・生年月日	〇〇 △△ 平成20年11月4日	50,000 円 ㉟ 〔50,000 円〕	
⑥	<input type="checkbox"/> 移住世帯(申請の区分が移住促進型)	県内への転入(予定)日	年 月 日	円 ㊱ 〔100,000 円〕	

### 5 変更交付申請額

㉔～㉞の合計額	(370,800) 446,600 円 ㉟	㉟の1,000円未満を切り捨てた額	(370) 446,000 円 ㊲
リフォーム工事費	(2,268,000) 2,592,000 円 ㊳	〔リフォーム工事費500,000円以上が助成対象〕	
㉟の1/5の額	(453,600) 518,400 円 ㊴	㊴の1,000円未満を切り捨てた額	(453) 518,000 円 ㊵
申請の区分による上限額	〔一般型は400,000円、移住促進型は500,000円〕		400,000 円 ㊶
変更交付申請額	〔㊲、㊵、㊶の最小額〕		(370) 400,000 円



(様式第5号) (第11関係)

# 記入例

## 信州型住宅リフォーム助成金実績報告書

平成29年7月12日

〇〇建設事務所長 様

リフォーム後に住むこととなった住宅の場合は、新しい住所（工事対象住宅の所在地と整合）

郵便番号 XXX-XXXX  
住所 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X  
電話番号 XXXX-XX-XXXX  
フリガナ 〇〇〇〇 〇〇〇〇  
氏名 〇〇 〇〇



平成29年6月2日付け長野県〇〇建設事務所指令29〇建第XX-X号で交付決定のあった事業が、下記のとおり完了しました。

なお、当報告書及び添付書類に記載の事項は、事実と相違ありません。

### 記

#### 1 申請の区分

一般型

移住促進型

（申請者が交付申請日の属する年度の前年度の4月1日から実績報告日までに県外から県内に移住した（する）場合）

#### 2 リフォーム工事計画（実施結果）概要

対象住宅の所在地	〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X	
居住・所有	<input checked="" type="checkbox"/> 自ら居住する住宅	<input type="checkbox"/> 自ら所有する住宅
施工者	商号・名称	〇〇建設株式会社
	所在地	〇〇市〇〇〇X-XX-X
	電話番号	XXXX-XX-XXXX
工事期間	工事着手日	平成29年5月9日
	工事完了日	平成29年7月8日

#### 3 助成金の精算額

400,000 円

交付決定（変更承認を受けている場合は変更承認後の交付決定）の金額

#### 【注意事項】

- この申請書は、工事が完了した後、速やか（期限：その年度の3月31日まで）に提出してください。
- のある欄は、該当するものにチェック（又は塗りつぶし）をしてください。
- 書類審査及び現地調査の結果により助成金の額の確定を行い、額の確定通知書を交付します。

【添付書類チェックリスト】（軽微な変更があるときは、下記書類の他、変更に係る書類の添付を求めることがあります。）

- 工事請負契約書又は工事注文請書の写し
- 領収書、金融機関振込依頼書その他の代金支払を証する書類の写し
- 工事箇所ごとの工事完了後の写真
- 工事箇所のうち工事完了後の隠蔽部分の工事内容が確認できる工事中の写真又は出荷証明書若しくは納品書の写し
- 【加算額③を適用する場合】信州木材認証製品出荷証明書の写し
- 【加算額④を適用する場合】リフォーム瑕疵保険の証券の写し
- 【加算額⑤を適用する場合】住民票の写しの原本（発行後1か月以内。申請者及び子ども（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者）が助成対象住宅に居住していることが確認できるもの）
- 【加算額⑥を適用する場合で、交付申請日に県内に居住していなかった場合】住民票の写しの原本（発行後1か月以内。移住促進型に該当することが確認できるもの）

(様式第6号) (第11関係)

記入例

信州型住宅リフォーム助成金年度終了実績報告書

平成30年3月31日

〇〇建設事務所長様

郵便番号 XXX-XXXX  
住所 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X  
電話番号 XXXX-XX-XXXX  
フリガナ □□□□ □□□□  
氏名 〇〇 〇〇



平成29年6月2日付け長野県〇〇建設事務所指令29〇建第XX-X号で交付決定のあった事業について、平成29年度の実績を下記のとおり報告します。

記

- 助成金交付決定額 400,000円
- 事業の進捗 申請どおり

申請年度の翌年度に事業完了するもの（交付申請受付期間：12/1～3/15）として交付決定を受けた場合は、申請年度の末日付けで必ず提出



(様式第7号) (第13関係)

記入例

信州型住宅リフォーム助成金交付請求書

平成29年 7月 27日

〇〇 建設事務所長 様

空欄でも差し支えない

郵便番号 XXX-XXXX  
住 所 〇〇郡〇〇〇町〇〇XXX-X  
電話番号 XXXX-XX-XXXX  
フリガナ □□□□ □□□□  
氏 名 〇〇 〇〇



平成29年 7月 21日付け長野県〇〇建設事務所達 29〇建 第XX-X号で確定のあった信州型住宅リフォーム助成金を下記のとおり交付してください。

記

- 1 請求金額 400,000 円  
2 振込先

金融機関名	〇〇銀行
本(支)店名	〇〇〇支店
口座種別	普通 ・ 当座
口座番号	XXXXXXXX
口座名義人(カナ)	□□□□ □□□□